

地域の多彩な魅力で創造し、
北東北の拠点都市

21世紀に飛翔する



名誉市民に

明石康氏

大館市名誉市民に明石康氏が決定しました。7月23日挙行の市制施行60周年記念式典において、称号、名誉市民章などを贈り、その功績を称えました。明石氏の受賞は、故石田博英氏、山田敬蔵氏に続き3人目です。



明石康氏 (あかしやすし)

昭和6年1月19日生まれ80歳
現在東京都港区に在住

● 功績の概要

大館市比内町扇田出身。昭和32年に日本人初の国連職員となり活躍。昭和47年に国連大学設立委員会事務局長として東京誘致に尽力。昭和49年から日本政府国連代表部の参事官、公使、大使を歴任し、国連総会の日本代表として、国際舞台における日本の地位向上に貢献。

昭和54年に国連に戻り、昭和62年からは軍縮担当事務次長として、日本開催の「国連軍縮会議」を成功に導いた。

平成4年、国連カンボジア暫定統治機構事務総長特別代表に任命され、大規模な平和維持活動を成功へと導き、その後、旧ユーゴスラビア国連平和維持活動事務総長特別代表などを経て、平成9年に国連を退官。

この間、激変する国際情勢の下、諸国間の紛争の解決や国際平和の維持に多大な貢献を果たした。

東日本復興支援として、海上自衛隊大湊音楽隊による「がんばろう！東北」震災復興支援コンサートが開催されました。



式典では、感謝状贈呈と行政協力員永年勤続者表彰が行われました。



市制施行60周年記念式典 スケッチブック